

市民の安心・要望がかなうまち



石崎たか子 議員

質問

過日、挙行された市議会議員選挙において、期間中、市民から苦情や要望が寄せられた。一番多かった苦情は、スピーカーの音量。他候補者の中傷。選挙管理委員会には、どんな指摘が多かったか。

総務部長

4年前に比べ、数多く寄せられた。選挙違反や選挙運動に関するものなど、多岐にわたってあった。

候補者間の誹謗中傷と思われるものもあった。街宣車のスピーカー音量の苦情も相当

あった。

質問

一番身近な選挙にもかかわらず、投票率が悪くなっておらず、選挙離れが目立った。来年は知事選挙、県議会議員選挙がある。推進の状況は。

総務部長

特に、啓発、活動についても取り組めるものについては、順次取り組んでいきたい。

質問

今夏、佐屋プールは、プールの老朽化がひどく、水を

張っても漏水するため休止、廃止もあると報じられた。昭和57年に佐屋プールは開設。昨年度は、7千883名の利用者。現在、保護者、一般向けにアンケートをしている。パートで、遠方に連れていけない保護者は存続を要望。昨年11月に漏水で3回も排水管の調査をした時に、業者の判断を聞かなかったのか。この問題はもっと早く行うべきで、この夏は、利用者に休止のままにするのか。もし、市の判断でこれ以上の存続は難しいとなれば、未利用者にまで、アンケートは不必要。市の方針は。

教育部長

今後の方針を明確に決定してないので、代替案の具体的な検討に至っていない。

市民の意見を参考にプールのあり方、改修方法、金額など、総合的に判断し、決めたい。

質問

市巡回バスは、4月から路線、時刻と順路の変更がされた。

苦情をいろいろ聞き、決定前に各地元に照会があっても良かったという思いがするが、市民の声をどのように反映したか。

総務部長

今回の改訂は、平成24年度から2力年にわたり、業者委託をして、愛西市巡回バス活性化のための調査を行ってき

た。一方で一般募集によるワークショップを各地区2回程行い、住民から、声を直接聞いて利用者の求めているものを取りまとめることも、過去3年間の全停留所における停車時間ごとの乗降客、利用者の数を分析して、現状把握も行ってきた。



▲佐屋プール